

# 平成 30 年度第3回名水会定例委員会 議事録

開催日時:平成 30 年 6 月 10 日 (日)10:00~12:00

開催場所:東大泉地区区民館地下会議室 1号

出席者:13 名

議事録作成:小島 周一

発議者	内容
馬場委員長	委員長より冒頭。先日開催された「名水喫茶」出店について PR 面、共栄会との交流面で、当初の目論見通り成功裏に終わったことが告げられた。
大嶺委員	次いで、広報大嶺さんから、出店の報告がなされた。 名水喫茶は6月3日（日）10時~14時まで憩いの丘公園で、共栄会が主催するバザー会場に協賛するかたちで出店した。 試飲された人の数は約 80 名に上った。 開催に至る経過: 5 月 6 日の委員会に於いて委員長より共栄会のバザーに名水喫茶の出店依頼があったことが報告され、当日の委員会で広報が担当することで参加が決定。前年度広報委員に前回の名水喫茶の様子をヒヤリング。 5 月 11 日には名水会たよりをラミネート加工しポスターに転用。バザーのポスターと併せ各委員宅に配布した。 参加して良かった点: お天気が良かった為、積極的に声掛けしたところ、多数の方が名水会喫茶に寄って下さった。 バザーのお手伝いの方も名水会喫茶に、お客様を誘って下さった。 毎日、名水会の水を飲んでいる方も、改めて大泉名水会の水の美味しさを実感して頂く事ができた。 名水会のアンケートに快く参加してもらえた。 改善点: テーブルセット等に不具合があったため、事前確認が必要であった。 あらかじめ事務所でクーラーボックスの用立てが必要。 会員以外の方を対象に大泉名水会の紹介パンフがあれば良かった。

<p>町田広報委員</p>	<p>試飲してくださった方から： 名水会に入会したかったが、出来なかった。家が建つ前に名水会を薦めてもらえないだろうか。 名水会に入会するには何か規定があるのか。 これから越してくるが、今回試飲して名水会に入会したくなった。</p> <p>次いで、町田さんより当日実施したアンケート結果についての報告があった。</p> <p>参加者は共栄会、名水会ポスターを見てという方が大半であった。 アンケートの回答者は非会員の方が多かった。 年齢層は 30～40 代の子育て世代、女性・女性グループもしくは女性を含む家族での参加が多かった。 試飲しての感想は、まるやか！さらっとして美味しいなどの回答をいただいた。</p>
<p>馬場委員長</p>	<p>試飲してくださった方々の意見から垣間見えるように、大泉名水会の PR 活動はまだまだ不足気味。問題個所を修正したポスターの復活、ホームページのメメな更新作業等々、対処可能なツールから優先して前へ進めることが大切。</p> <p>この件に関してはポスターのリードコピーについて活発な意見が交わされた。</p> <p>また、のぼりを各委員宅に配布し掲げてもらったらどうかという意見も出され、実現へ向け前向きに検討していくこととなった。</p> <p>次に大規模災害時の対応について、委員長から提案があった。 1980 年に交わされた練馬区と大泉名水会との災害時における飲料水確保の協定書によれば、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●その目的は、大地震等による災害時において、防災井戸等を練馬区が使用することにより、円滑な応急給水活動を実施すること。</li><li>●練馬区は、災害の発生により応急給水が必要になったときは、大泉名水会に対し、飲料水の提供を要請するものとする。</li><li>●名水会は、練馬区から要請があったときは特別の理由がない限り、練馬区及び付近住民等に対し、飲料水の提供をするものとする。</li></ul> <p>等の記載があり、一方、災害時の練馬区としての具体的な対応プランは提示されていない。</p>

大泉名水会として大規模災害時の行動プランを策定するうえで、予め行政側の防災井戸活用の具体的なプランを周知しておく必要があると考え、練馬区の担当部署(防災計画課)に宛て質問書を送付するとの提案がありました承された。

次いで、事務所敷地内のセキュリティ対策について委員長より提案があった。

センサーによる敷地内の防犯予防対策は再度、複数の関係業者に見積依頼をする。また、貯水槽・蓋の南京錠強化対策も検討したい。

敷地北東2号井戸へ降りる石段が崩れかけているため補修のための見積もりをとることになった。

今月28日(木)に有志による草むしりをする事が決定した。

以上